

はじめに

このスタイルの報告書を作り始めて四年目になりました。

私達の部署が実施する地域ケアサービス推進事業（滋賀県補助事業）では、一つの事業として、知的障害を伴わない自閉症スペクトラムの方々（本文では「高機能発達障害者」とする）が、安心して暮らすことができるようになるための支援方法を考え、提供し、それを検証するという取り組みを続けてきました。グループホーム「ホームかなざわ」は開設から十二年が経ちました。今年度は、長年にホームかなざわを利用してきた方と、一年の利用を経て一人暮らしへ移行された方の生活移行に関する支援を振り返ります。今回は、一つのアプローチ手法を基に支援員がどう感じ、それに対してどう考え、どうアプローチしていったかということ、一人の支援員の目線から報告しています。

また、地域ケアサービス推進事業の他の事業として糸賀思想の研究・実践・普及があります。これは、糸賀一雄生誕一〇〇年事業での盛り上がりを一年だけのものにしてはならないということから始まりました。現代において糸賀氏の思想に通じる実践をしている人達にお話を伺い、その動機付けや社会課題の捉え方、考え方を広く共有して行こうとする試みです。今年度は、障害福祉領域だけでなく社会的弱者と呼ばれる方々をどう支援するかということにも着目し、幅広い実践者のインタビューを行うことが出来ました。

もう一つ、付録として、学生時代は美術を学び今年度入職したスタッフが、他者を捉えるということについての美術と福祉の視点の違いについて考察した論考を掲載しています。入職一年目であり、他分野を専門としていたという新鮮な目線と、自身が大学で考え続けてきたことをベースにした考察を併せて御覧ください。

二〇一八年三月

社会福祉法人グロー（GLOW）く生きることが光になるく

法人本部企画事業部ケアサービス推進課